



岩中だより

笠間市立岩間中学校 学校だより

合言葉：私たちの最上位目標は生徒の幸せ

2024.12.5（木）第24号

3年生が岩間第一幼稚園児と触れ合いました



幼児の心身の発達や生活の特徴について学び、幼児との関わり方を考えようとする意識をもつことを目的に、3年生が、家庭科「幼児とのかかわり」の学習の一環として、「幼児ふれあい体験学習」を行いました。クラスごとに岩間第一幼稚園を訪問し、3年生が自作した「トントン相撲」や「すごろく」などのおもちゃで遊び、楽しく交流しました。だんだん交流が進むと、幼児が、3年生に抱っこやおんぶをせがむなど、心温まる光景も見られました。幼児と接する3年生の頬が緩み、愛おしそうに見つめる姿がとても微笑ましかったです。3年生の中には、岩間第一幼稚園出身の生徒もいて、幼稚園の先生に「立派になったね。」と褒めていただけたことも、とても良かったです。

2年生が、岩間が世界に誇る「合気道」を学びました

今年度も、公益財団法人合気会茨城支部道場より平澤先生と磯山先生を講師としてお招きし、2年生が、合気道の授業を8時間行いました。平成24年度より、中学校体育で「武道」が必修になり、市内全中学校では、令和元年度から「合気道」に取り組んでいます。初めて合気道に取り組む生徒の皆さんは、初めは苦戦していましたが、講師の先生方に励まされ、だんだん技を覚えていきました。そして、生徒たちは、授業8時間目となる場面で、演武（発表会）を行いました。静寂の中、子どもたちの鋭い動き、引き締まった表情、かけ声が大変印象的でした。講師の先生からも、たくさん褒めていただきました。生徒たちは、合気道の授業を通して、技だけでなく、「礼儀の大切さ」と「まっすぐな心」、「相手を思いやる気持ち」、さらには「武道の楽しさ」を学べたと思います。



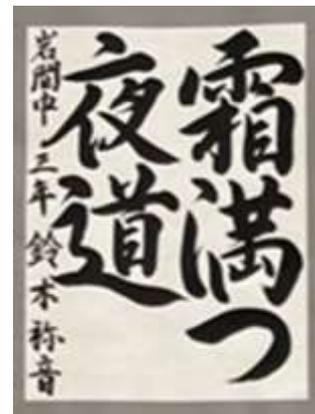
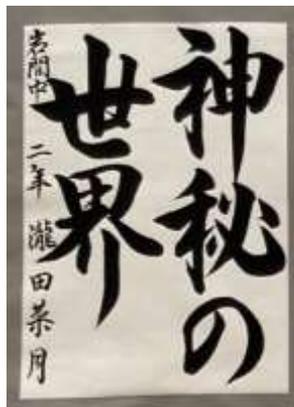
いは6!

2年生が「いばらきっ子郷土検定」笠間市大会で第2位に！

10月14日に行われた「いばらきっ子郷土検定」笠間市大会で、2年生が第2位になりました。惜しくも県大会出場は逃しましたが、13名の生徒に1～3級の認定証を授与できることがとてもうれしいです。検定では、茨城県や笠間市の歴史や観光、文化などに関する問題が出題されますが、生徒の皆さんは練習プリントに取り組んできたことで、郷土を知り、郷土を愛する気持ちを育ててきました。これからも、茨城県、そして、わが笠間に、愛着と誇りをもってほしいと思います。



芸術の秋のフィナーレを飾りました～茨城県児童生徒美術展覧会～



11/22～11/26に水戸のザ・ヒロサワ・シティ会館で行われた茨城県児童生徒美術展覧会に、学校代表として出品された絵画と書作品です。各市町村代表の作品が会場に展示されるなか、4人の作品は輝きを放ちました。

12/4（水）学校保健委員会を行いました

学校保健委員会は、子どもたちが生涯を通して、自ら健康で安全な生活を送ることができる「生きる力」を身に付けるため、生徒の健康の問題について協議し、健康づくりを推進する組織です。この日は、生徒の健康診断の結果や体力・給食の状況などについて共有し、質疑応答を行いました。また、学校医である西堀先生から「子どものスポーツ外傷」というテーマで講話があったり、学校薬剤師の菅谷先生から「睡眠の質」についてうかがったりするなど、これからの生徒の心身の健康について深く考える貴重な時間になりました。



学び続ける教師に～11/28（木）計画訪問が行われました～

笠間中では、子どもたちの学力向上を目指し、日々授業改善に取り組んでいます。今年度は、校内研修テーマ「一人一人が大切にされる学習指導の在り方～学習規律の確保と探求的な学びを通して～」を設定し、教職員が一丸となって授業改善に努めています。11月28日に、本校の取組の成果を公開する「計画訪問」がありました。笠間市教育委員会指導主事のほか、こども育成支援センター、IT未来高校、友部東特別支援学校の先生方等も参観していただき、

- ・生徒一人一人が課題に熱心に向き合う姿が見られました。
- ・教師の声かけなどから、普段から生徒との信頼関係のよさを感じました。
- ・効率よくICTが活用されていたとともに、生徒同士でよく意見交換できていてよかった。

などという感想をいただきました。今後も、子どもたちが学ぶことの楽しさを知り、なりたい自分に向かって学びを進めていけるよう、授業改善を進めてまいります。

